

書名	<b>悪の歴史 日本編上</b>			著者名	関幸彦／編著		
出版社	清水書院	ISBN	978-4-389-50062-7	本体価格	¥2,400	発売	2017/8/9
内容	“悪”の心が権力をもたらすのか！？歴史を紡いだ偉人たちの実相に迫る衝撃の書。						

書名	<b>日本古代中世の葬送と社会</b>			著者名	島津毅／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-04637-4	本体価格	¥8,500	発売	2017/9/15
内容	古代中世の人々はどのような遺体・遺骨観、靈魂観を持ち、いかにして葬送を執り行っていたのか。葬送の時刻とその推移、行われる儀礼・習俗、関与した人々とその役割の変化から、当時の実態を明らかにし、人々の他界観・死生観にも迫る。また、清水坂非人の葬送権益を通して、彼らの実像と葬送や寺院等との関係を解明。九百年にわたる日本葬送史。						

書名	<b>元号 全247総覧</b>			著者名	山本博文／編著		
出版社	悟空出版	ISBN	978-4-908117-39-8	本体価格	¥1,700	発売	2017/9/15
内容	改元年月日、改元理由、元号の出典、元号使用期間、その時代に起きた主なできごとなど……日本人が知らない元号の秘密のすべてがわかる！元号を追えば、日本の歴史が見えてくる。新元号を迎えるにあたって、知っておきたい247元号をすべて網羅した1冊！日本史の絶好の資料としてお手元に！						

書名	<b>古事記 日本の原風景を求めて</b>			著者名	梅原猛 上田正昭 三浦佑之 上野誠／著		
出版社	新潮社	ISBN	978-4-10-602277-7	本体価格	¥1,600	発売	2017/9/22
内容	出雲、日向、大和——古事記の美しきふるさとには、今も神々が坐していた！日本最古の歴史書を、その舞台とともに案内する決定版。						

書名	<b>なぞって描けば祈願成就 運慶写仏</b>			著者名	田中ひろみ／著		
出版社	朝日新聞出版	ISBN	978-4-02-333175-4	本体価格	¥1,000	発売	2017/9/7
内容	「心やすらぐ仏像なぞり描き」が大ヒット、「仏像なぞり描き」ブームの火付け役として、テレビやラジオ番組で紹介されている、いま話題のイラストレーター・田中ひろみの第6弾！ 運慶が造った仏像・全31体を完全網羅するだけでなく、如来・菩薩・明王・天など4種類ある仏像の基礎知識や、運慶仏の背比べ、運慶仏に会える寺社ガイドまでついています。						

書名	<b>運慶への招待</b>			著者名	朝日新聞出版／編		
出版社	朝日新聞出版	ISBN	978-4-02-251490-5	本体価格	¥1,700	発売	2017/9/20
内容	教科書や偉人伝にも登場する「運慶」だが、どこが凄いのか。東京国立博物館の浅見龍介氏が、仏像や仏教の知識ゼロの読者にも理解できるように、懇切丁寧に解説する。運慶仏全31体の写真を完全収録。今回は通常版よりも「16頁」多い、増大版？						

書名	<b>斎宮 伊勢斎王たちの生きた古代史</b>			著者名	榎村 寛之／著		
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-102452-7	本体価格	¥920	発売	2017/9/21
内容	天皇の代替わりごとに占いで未婚の皇族女性が選ばれ、伊勢神宮に仕える——これが斎王である(斎宮とも)。飛鳥時代から南北朝まで、六百年間、六十人以上の皇女が斎王となった。『伊勢物語』の「狩の使い」のモデルとなった斎王もいれば、後に皇后となり、怨霊となった斎王もいる。彼女たちは都を離れた伊勢で何を祈り、どんな生活を送ったのか。その一人一人の素顔に迫るとともに、古代史を新たな視点で通観する。						

書名	<b>土木技術の古代史</b>			著者名	青木敬／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-05853-7	本体価格	¥1,800	発売	2017/9/15
内容	古代から、土木技術は社会発展の礎となってきた。日本各地の古墳や名だたる仏教寺院・宮殿建築を生み出してきた伝統的工法を、豊富な遺構の発掘成果とともに紹介し、中国・朝鮮半島の事例に大陸からの影響をたどる。政治的支配や外交、信仰と土木とのかかわりを手がかりに、人々がどのような社会を目指したのかを、古代の先端技術から照射する。						